



札幌パートユニオン機関紙

発行：札幌パートユニオン

〒060-0004

札幌市中央区北4条西12丁目1-11
ほくろうビル4階

TEL; 011-210-1200 FAX; 011-206-4400

E-mail ; spk-chiku-union

@mse.biglobe.ne.jp

url : <http://spk-chiku-union.jp/>

陽だまり

No.210

発行日：2026年9月19日

◇' 26年度最低賃金（北海道地域）、 “1,131円/時”に◇ ～56円（5.21%）の引上げで、10/1発効予定～

去る、8月5日に、北海道地方最低賃金審議会は第3回北海道地方最低賃金審議会を開催し、2026年度の最低賃金額を（厚生労働省の「中央最低賃金審議会」による）目安と同額の“56円引き上げ・1,131円”に改定する旨、村松達也北海道労働局長に答申しました。発効日は法定通りとし10月1日を予定しています。

一応は引き上げられたとはいえ、“雀の涙”程度でしかありません。最近の激しい物価高に追いつくどころか、実質賃金の低下はとどまる様子も全くありません。

さらには、スキマバイトの「タイミー」が、北海道と人材確保の包括協定を結び観光や第一次産業を足掛かりに業務拡大を図る、という動きがあるようです。

「タイミー」等の企業・事業体は、生活苦にあえぎながらも種々の厳しい事情の故に“日銭で生活をせざるを得ない”労働者の足元を見透かして、安価で高能力の人材確保を狙って事業展開を図ることを生業（なりわい）としています。労働法の“抜け穴”等を狙って、労働者を食い物にすることはあっても、決して労働者の権利の確保・拡大のために力を注ぐことはない、と言っていいでしょう。



北海道労働局前で「最賃引き上げ」要求の声を上げる仲間達

職場で共に働く労働者の中にも、このような労働者が増えてくるに違いありません。いや、既に多くの“「スキマバイト」で働かざるを得ない労働者がいる”という職場の話も、聞こえてきています。

私たち労働組合こそが、労働者の団結をもって、その権利を守らねばなりません。

札幌パートユニオンの組合員の仲間の皆さん。時にはそんな方を私たちの仲間として迎え入れ、職場でのつながりをつくることを基礎にして、賃上げや職場環境の改善のためにともに闘うべきことを話し合ってみてはどうでしょうか。（文責：幹事・N）

＝6.27「札幌パートユニオン第42期第1回定例学習会」
兼「札幌地区ユニオン第28期第1回組織研修会」を開催＝

「高市政権の労働法制改悪を斬る！」

最初に、山本事務局長（「札幌地区ユニオン」書記長）から「労働基準法の『改悪』の歴史」、「高市政権の経済政策との関連」、組合員としての心構え」といった内容の講演をうけました。

その後、意見交換を行いました。そのなかで、高市首相が去年の10月に自民党の総裁に就任した時、“「働いて、働いて、働いて、働いて、働いて（参ります）」と5回も言い、さらには「ワークライフバランスという言葉捨てます」と言ったのは、自分のことではなく国民全体に対して「働け！」と言ったのだ”という意見が出ました。

また、「日本成長戦略会議・労働市場改革分科会」〔注1〕委員の伊藤仁委員（日本商工会議所専務理事）が、会議の場で「…時間外労働が45時間を超えた場合に（労働基準監督署の）過度な指導が企業活動を萎縮させているとの声がある（ので、そういう指導は止めさせてくれないか）…」と公然と言っていることが議事録に載っていてビックリした、という意見が出ました。僕も大変危険な動きであると思いました。実際厚生労働省は9月1日から“45時間以内への残業の削減”を求める指導を見直すことを決定したのです。〔注2〕

僕は、11年前に過労自殺をした「株電通」の高橋まつりさんのお母さんの手記が朝日新聞に載っていたことを紹介し、参加者にコピーを配りました。まつりさんのお母さんも派遣社員で二人の子供を育てていました。けれど大切なまつりさんが過労自殺して会社に潰されてしまったのです。僕は、お母さんの無念の気持ちをあらためて知り、去年10月の高市発言は許せないものであるとの思いを強くしました。今後も労働組合として、労働法制の改悪に反対する活動を強めていきましょう。

（文責：幹事G）



学習会の司会を務めてくださった、山本事務局長（右）と、札幌地区ユニオンの小林執行委員長（左）。

※〔注1〕【「日本成長戦略会議」とは】

2025年11月4日の閣議決定により、高市首相が内閣官房内に組織した「日本成長戦略本部」の下に設置された会議体。

「内閣官房」のHPによれば、内閣総理大臣を本部長とし、「本部長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めることができる。」「…本部の運営に関する事項その他必要な事項は、本部長が定める」とされている以上、その権限の範囲などについての細かな定めがない。いわば、“全省庁横断的な、高市首相専権（＝白紙委任）」の機関”といえるものであり、「諮問機関」ですらない。この意味で“高市スタイル”を象徴する機関と言える。

ちなみに、似た名称で自民党の機関として「自民党日本成長戦略本部」（岸田文雄元総裁が本部長）があるが、別の機関です。

（幹事：N）

※〔注2〕について

厚生労働省は、8/19付けで「時間外労働等に係る相談・支援及び監督指導を見直します」との表題で、おおよそ以下2点の内容の報道発表を行った。

（今般、日本成長戦略会議などでの検討を踏まえ、）

1. 36協定の締結等に関する相談・支援の充実

「…全国の働き方改革推進支援センターに、36協定や特別条項の締結や柔軟な労働時間制度の活用を支援する「専門相談窓口」を設けます。…」

2. 労働基準監督署における対応の見直し

「時間外・休日労働時間数のみに着目して1か月45時間以内への削減を求める一律の指導を見直し、…」

まさに、法改正などの手続きを経ることなく、事実上労働基準法における“労働者保護”の主旨を無視する形で、我々労働者に対して“働け！”と号令をかけるよう、労働基準監督署を「指導」した。

8/14 ; 「不戦の日！ 8・15北海道集会」へ参加

戦後81年となる8/15を前に、平和や憲法について考える「不戦の日！8・15北海道集会」（北海道平和運動フォーラムなど主催）が8月14日に「かでる2・7」で開催されました。

会場に参加した私たちは、まずは集会を開始するにあたって、戦没者の方々に黙とうを捧げ“日本政府に2度と戦争を起こさせない”決意を確認しました。

その後、5月に沖縄県で開催された、米軍基地負担の軽減を訴える「5・15平和行進」に参加したり、沖縄戦の戦跡を見学したりした、労働組合の関係者3名が登壇しました。3名の方々は、現場での取り組みや感想などについて、次々と発言してくれました。

これに引き続き、「問われる立憲主義—さらなる監視国家化と軍備増強のゆくえ」と題した、室蘭工業大学大学院教授・清末愛沙氏の講演を聞きました。

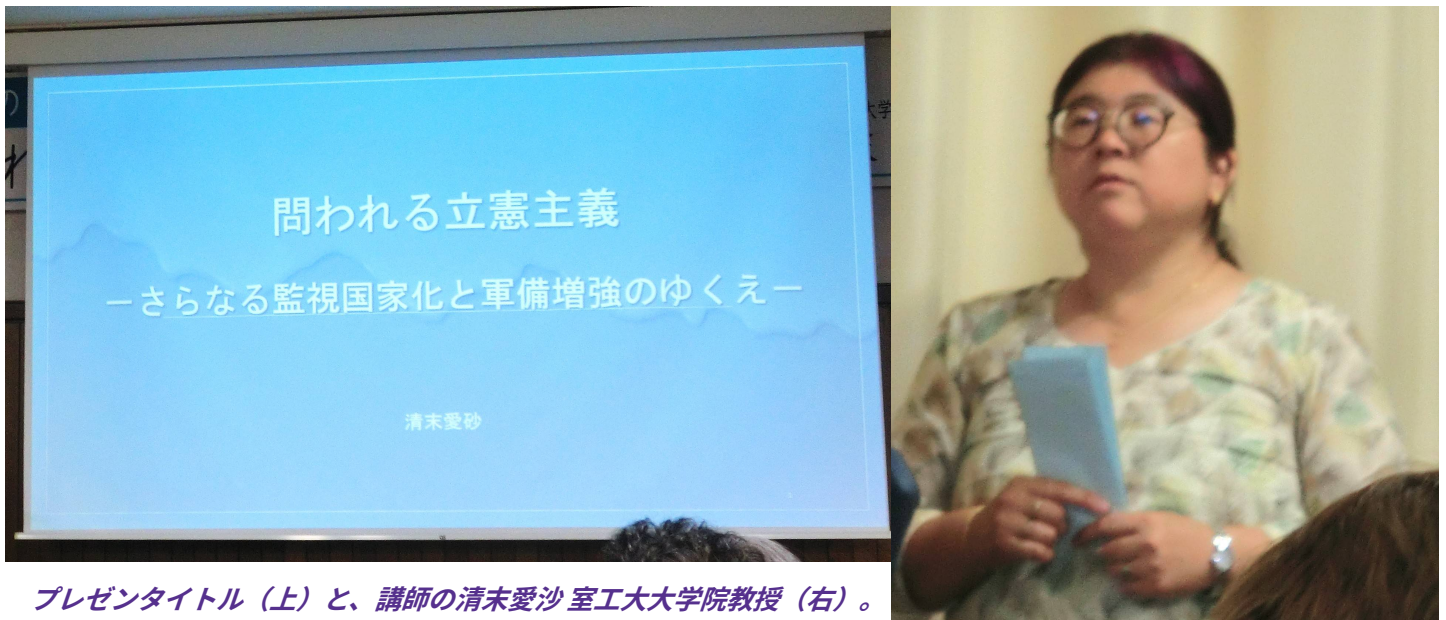
講演では「国会でこれまで進んできたことは、自民党と日本維新の会の『連立政権合意書』の内容そのものであり、今後の動きもこの合意書に沿って進んでいくことが予想される」と指摘されていましたが、この点は「確かにその通りだ」と思いました。

高市総理は、昨年の所信表明で、今年末に「安保三文書」を改定することを明言しています。そして、その”キモ”となるのは「非核三原則」の破棄であると言われています。“数の力”を最大限駆使し議会制民主主義をもないがしろにして”日本の軍事大国化”に突進する高市政権に対して「憲法を守れ」というだけで守り切れるのか。なんとも後ろ向きのではないだろうかというのが、私の率直な感想でもあります。

かつて、若き労働者達が戦場に駆り出されました。そして、戦地に行かない労働者たちは“飢え”を強制されただけでなくその上に重ねて、“銃後の守り”と称して「戦時国債の購入」まで強制され、文字通り“身ぐるみを剥がれた”のではないですか。いま検討されている「個人向け国債購入」の優遇措置は、その再来なのではないでしょうか。

一時的な「消費税減税」は全くの“目くらまし”に過ぎないのではないのでしょうか。私は、SNSを悪用しながら強引に突き進む高市政権の横暴を止められるのは、私たち“労働者の団結”であり、“労働組合の団結力”以外にはない、という確信をあらためて確信しました。

（文責：幹事・N）



プレゼンタイトル（上）と、講師の清末愛沙 室工大大学院教授（右）。

↑ 0 / 1 7 (土) 「 2 0 2 6 札幌レイバーフェスタ」 (In 北海学園大学) に 参加しよう！！

札幌地区ユニオン分科会企画：「『平和』 いつ、どこで、どう考える」

北海学園大学・豊平キャンパス 8号館B32教室。13:30～16:00頃まで。

札幌パートユニオン組合員の皆さん！

今回、北海学園大・経済学部教授の川村雅則さんの呼びかけで、札幌で働く労働者や札幌で活動する労働組合などが集い、学びあい、お互いにつながることを目的にした、「2026 札幌レイバーフェスタ」が、北海学園大学・豊平キャンパスで開催されます。

組合員の皆さん。是非参加してください。

「2026 札幌 レイバーフェスタ」では、12の分科会（予定）があります。私たち札幌パートユニオンが中心になって企画した「札幌地区ユニオン分科会（ブース）」では「『平和』 いつ、どこで、どう考える」と題した分科会を開催します。

「核兵器廃絶と平和な世界をめざす高校生一万人署名活動」を精力的に行ってきた高校生平和大使、「広島・長崎を最後の被爆地に」と訴え昨年も札幌パートユニオンの学習会に来て語ってくださった・被爆者連絡センター代表理事の宮本須美子さん、戦後間もない時に起きた「真岡郵便電信局事件」を語り継いでいる情報労連・NTT労組の方、三人の方の話を聞き平和の取り組みについて、話し合い、考えていきたいと思います。

組合員の皆さん。「札幌地区ユニオン分科会（ブース）」にもぜひ参加してください。

札幌パートユニオンの組合員の皆さんは、日々、急激な生活必需品などの物価高騰の中、職場では過酷な労働（パワハラ・低賃金など）の下、身も心もすり減らしているに違いありません。にもかかわらず、高市政権は、「国旗損壊罪」などを次々に制定しています。高市首相は8月15日の全国戦没者追悼式で「戦争の惨禍を、二度と繰り返させない」と言いました。私には、日本を軍事大国にしようとしているように聞こえます。“何かオカシイ”と思いませんか

また、これまでの歴代首相は“非核三原則を堅持する”と言ってきましたが、高市首相は“日本には非核三原則がある”と言っています。これでは、「現状」を説明するだけです。誤魔化しています。何かオカシイとは思いませんか？

さらに、高市首相は「来年に憲法改正発議のメドを立てると発言し、憲法を改悪しようとしています。おかしいとは思いませんか？

また、世界に目を広げれば、アメリカやロシアが核を使用することもあり得ると公然と言っています。核戦争の危機が私たちの頭上に迫っていると感じます。そう感じませんか？

他の分科会（ブース）も、労働組合、弁護士、自治体議員、、学生などが参加して色々な分野のテーマで行われます。

時間のある組合員は、是非「札幌地区ユニオン分科会」に限らず、他の分科会にも積極的に参加してください。

「レイバーフェスタに参加するかな？」と思

ってくれた組合員の皆さん。札幌パートユニオンの組合員同士、交流して色々な問題を話し合い、考え、みんなで活発な札幌パートユニオンをつくって行きましょう！

▶▶ <10.17(Sat) : 「2026札幌レイバーフェスタ」 in 北海学園大学>概要◀◀

- 大木会長の呼びかけ文(P4~5)にもある通り、全体は多くの労働組合・弁護士・自治体議員・学生などが参加して色々な分野のテーマで行われます。
- 全体のスケジュール(予定)は別添、同封のチラシの通り「10:00~18:00」ですが、各ブースの担当グループ内で、開催当日に向けての準備を進めている真っ最中のため、時間帯や内容を追ってお知らせすることになる可能性があります。詳しくは、川村雅則先生のHP「北海道労働情報NAVI」(URLは下記の通り)にPCからアクセスするか、チラシにあるQRコードを読み取ってサイトにアクセスしてみてください。

◇「北海道労働情報NAVI」内「2026札幌レイバーフェスタ」◇

URL;<https://roudou-navi.org/custom/20261017event/>

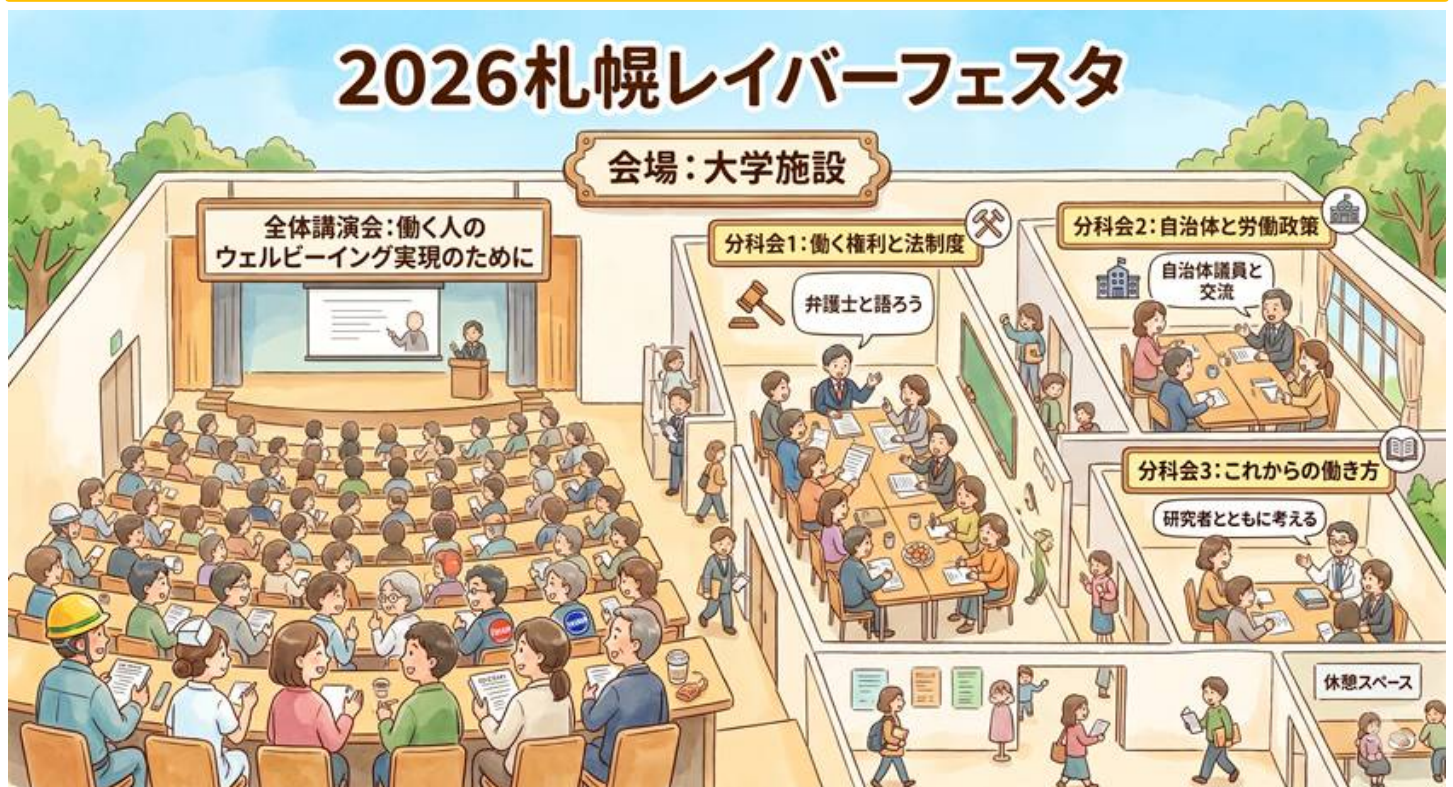
- 「札幌地区ユニオン分科会」の概要は以下の通りです。

- ・テーマ;「『平和』いつ、どこで、どう考える」
- ・日時;10月17日(土)、13:30時~16時頃まで。
- ・場所;北海学園大学・豊平キャンパス 8号館B32教室。
- ・講師;被爆者連絡センター代表理事・宮本須美子さん、高校生平和大使の方、情報労連・NTT労組役員の方。

★講演の後、意見交換なども企画しています。

★★ P8に「北海学園・豊平キャンパス」周辺の地図と、キャンパス内の施設概要図を掲載しました。参考にしてください。

★★ なお、**当日学内の駐車施設は利用できません**ので、お車でお越しの方は近隣の駐車場を利用願います。



<2026札幌レイバーフェスタ会場(イメージ図)>

9/10「～働いて働いて働き過ぎて命を落とすことのないように 労働時間の規制緩和に反対する市民集会～」(労働弁護団・北海道ブロック主催)

われわれ労働者の命を守る闘いへの決意を、参加者一同で確認。

日本労働弁護団北海道ブロックは、9月10日、札幌市内の北海道自治労会館で「労働時間規制緩和に反対する市民集会」を開催しました。

高市内閣誕生以降、景気回復を重点とする中、労働法制の規制緩和・改悪のビッチが急上昇しています。米国への過剰依存がもたらす弊害であり、平和と安全毀損も一顧だにしません。最低賃金へのブレーキは掛けたので、今度は労働時間規制緩和への歩を強めています。

今回の集会では、高市内閣による具体的な労働法制改悪事例として「労働時間の規制緩和」を取りあげ、最大限の注意を喚起しています。変形労働時間制と裁量労働制への事業主裁量を強める内容です。

これは就業規則の変更を手段とするところが狡猾で、労働組合のある企業にはより一層を進むように、ないところには従業員代表を中心に議論しやすいように、早く法改正を進めるよう厚労省に圧をかけています。財界の希望もあり、経団連は年明け早々に担当大臣へ直談判を掛けています。

解説に登壇した日本労働弁護団事務局次長の有野優太弁護士は、この間の労働時間規制緩和に関する議論経過を説明し、“今秋以降の議論に注目し、とりわけ労政審前に政府がどのような方向を出すか注視すべき”としました。そして、各地・各団体が常に反対の声を挙げ、連帯の輪が大きくなるよう心掛けることが大切としました。

また、北海学園大学川村教授は“どのような主義・政策も具体的に展開されるのは職場であり、被害は労働者が真っ先に被る。生きるためにはワークルールを意識し生活することが大切”としました。



オンラインで講演された、労働弁護団・有野優太弁護士

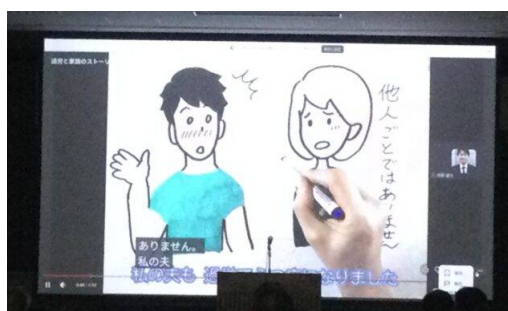
集会では被害・被災当事者からの報告もあり、自作パラパラ漫画動画による労災からの家族救出の取り組みも紹介されました。

主催者・日本労働弁護団北海道ブロック代表の伊藤整一弁護士は、“地域職場の団結・連帯がとても大事であることが改めて認識された。悪政を跳ね返すために連帯の輪を広げてガンバロー”と宣言しました。札幌地区ユニオンは本集会に6名参加しました。

(以上、HPより抜粋。)



演台で講演された北海学園大学経済学部・川村雅則教授



“パラパラ動画”で、労災からの家族救出の取り組みを紹介(左)。



「団結・連帯」の檄を飛ばす労働弁護団北海道ブロック代表・伊藤整一弁護士

全国ユニオン・北海道地方連合会第2回定期大会を開催！

～～今年度に向けた新たな体制と指針を確認～～
さらに「労働時間の規制緩和」に反対する労働弁護団からの特別講演を受ける。

9月12日、全国ユニオン北海道地方連合会は札幌市内ほくろうビル5階会議室で第2回定期大会を開催しました。

冒頭、小林執行委員長は“格差拡大と強者の横暴が人類共通の被害となっている、労働者の団結こそ世界危機阻止への有効な手段、頑張ろう”、と檄を飛ばしました。

運動方針では、山本事務局長より全国ユニオン本部との一体的行動を意識して、労働法制改悪・格差拡大の阻止及び非正規雇用を含めた未組織労働者の全国ユニオン結集に取り組むことが提起されました。また、地域最低賃金の引き上げやジェンダー平等推進の取り組みは職場から地域活動への広がり意識し取り組むとしました。運動方針は参加者の満場一致を以て可決されました。



定期大会議長として議事進行する小林執行委員長（右）と、議案提起をする山本事務局長（左）。



記念講演をされる労働弁護団北海道ブロック事務局長・島田弁護士（上）。

講演の中で“パラパラ動画”が再登場しました（左）。

記念講演には労働弁護団北海道ブロック事務局長の島田度弁護士を講師に招き、9月10日の「裁量労働制反対集会」の振り返りをテーマに解説講義を受けました。同弁護士は、今後労政審への提案・議事付託までに政府レベルでかなりきわどい内容が議論される。労働者・国民は監視意識を以て注視し、改悪阻止行動への意識を高めていこうとしました。

参加した組合員の皆さんご苦労様でした。

島田先生ありがとうございました。

（以上、HPより転載しました。）

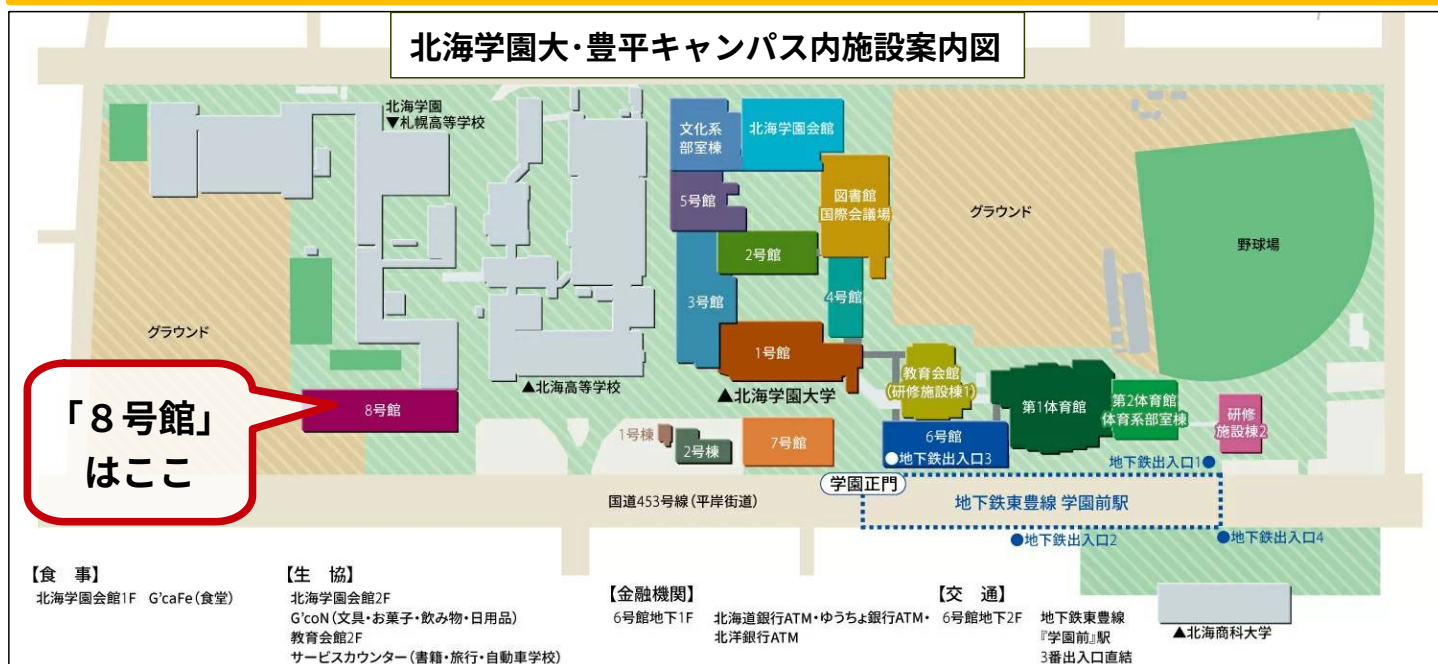
★★★＜10.17(Sat)：「2026札幌レイバーフェスタ」in 北海学園大学＞★★★

● 札幌地区ユニオン分科会（ブース）；「『平和』いつ、どこで、どう考える」

- ・日時；10月17日（土）、13時30分～16時頃まで。
 - ・場所；北海学園大学8号館B32教室。
 - ・講師；被爆者連絡センター代表理事・宮本須美子さん、高校生平和大使の方、情報労連・NTT労組役員の方。
- ★講演の後、意見交換なども企画しています。

P 4～5 に、大木会長からの「呼びかけ文」を掲載してます。是非読んでください！

北海学園大・豊平キャンパス内施設案内図



札幌市豊平区旭町4丁目 1-40 周辺地図



Ⅱ 編集後記 Ⅱ

今回の総会記念講演での「意見交換」の場で、山本事務局長から「三十年前の失敗談」が語られていた。

これまで繰り返し強行されてきた「労働法の改悪」は、確かに諸先輩の「失敗」故に引き起こされた。敗北という、結果としての一面を持っている。しかし、「失敗」の経験を教訓化することこそ、成長のためには重要であり必要なことなのではないか。私達一人ひとりには、たかが数十年しか生きられない。だからこそ、諸先輩が「恥」を忍んで、語ってくれる「過去の失敗」を、教訓としてあとに受け継いでゆく「事を意識的に続けること」こそが、成長し進化する力の証しなのだろうと再認識する。話は少し変わるが、最近ある気象予報士が「AI予報」について、次のように語っていた。「当たる確率はAIの方が高い。しかし、AIの場合は導きだす過程がブラックボックスの中。外れた時に「何が原因なのか」が全く分からないのだそう。巷間、「失敗した時、何の教訓も残せないAIに、人類の未来を託すかのような考えがはびこっている気がする。」

まもなく開催予定の「レイバーフェスタ」では、「過去と現在の戦争の教訓」について考える貴重な機会になるのではないかと思います。

多くの皆さんの参加と、活発な意見交換を期待しています。

(文責：幹事N)